

研 修 種 目	小 学 校	中 学 校	養 護	高 校	少 年 団 体	そ の 他	主 催 事 業	計
レ活 ク 的動	伝承あそび	3	0	0	0	0	0	3
	フォークダンス	1	0	0	0	1	0	2
	室内ゲーム	10	0	0	0	3	12	25
そ の 他	自由活動	17	18	1	6	89	2	150
	クラフト	10	1	1	0	3	0	15
	文化財を訪ねて	3	1	0	0	0	0	4
	フィルムフォーラム	0	0	0	0	1	0	1
	討議・講義	1	7	6	2	43	5	89
	ロープ結び	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	529	77	20	11	326	9	81	1,053

第4節 主催事業

(1) 学校利用指導者研修会

① 目的

効果的な利用を図るため、望ましい計画の立て方や研修活動のすすめ方などについて研修し、協議する。また実技研修を通して、指導技術の向上を図る。

② 期日・対象者及び参加者数

- 第1回
平成元年4月19日～20日 対象38校 参加者32名
(平成元年6月6日～7月13日の利用校)
- 第2回
平成元年6月22日～23日 対象36校 参加者32名
(平成元年8月26日～3月23日の利用校)
- 第3回 第2回に含めて実施
- 第4回
平成2年2月22日～23日 対象37校 参加者33名
(平成2年4月10日～6月2日の利用校)

③ 研修内容

- 講 義 ・宿泊研修及び野外活動の必要性
・宿泊研修の指導のあり方と諸手続き
- 実技・演習 野外活動・キャンプファイヤーの演出・プログラム作成・諸役割配当等

(2) 少年団体等利用指導者研修会

① 目的

利用の効果を高めるため、研修計画立案の方法や研修のすすめ方などについて研修・協議を行い、実技研修により指導技術の向上を図る。

② 期日・対象者及び参加者数

- 期 日 平成元年6月3日～4日
- 対 象 利用団体の指導者 参加者55名

③ 研修内容

- 全体会 入所に必要な手続きと準備等
- 実 技 複合野外ゲーム(フィールドワーク等)
- 講 演 キャンプファイヤー、プログラミング等

- その他 施設見学、実地踏査

(3) アウトドア指導者研修会

① 目的

青少年教育に携わる指導者が、野外活動の技術や指導力の向上を図るため、野外活動に関する基礎知識や技能指導法について研修し、その資質の向上を図る。

② 期日、対象及び参加者数

- 期 日 平成元年8月3日～6日(3泊4日)
- 対 象 県内の高校生、大学生、社会教育関係者、学校教育関係者の初心者、定員40名、参加者23名

③ 研修内容

- 理論(自然生活と人間、野外の安全と救急法、野外活動を普及させるために)
- 実技(軽登山の理論と実際、キャンプクラフト、テント設営、野外炊飯、天体観測と野外ゲーム)
- 演習(キャンプファイヤー)

(4) 自然に鍛える少年のつどい

① 目的

夏の大自然の中で、キャンプ生活や野外活動を通してたくましく(自主的・自律的)生活できるようにし、併せてリーダーの素地を養う。

② 期日・対象及び参加者数

- 期 日 平成元年7月27日～30日(3泊4日)
- 対 象 県内小・中学校より推薦され、又は公募した5年生以上の児童・生徒 参加者35名

③ 研修内容

- すまい作り ○ 野外炊飯 ○ 登山(三森峠～御霊櫃峠間14km縦走) ○ ウォークラリー ○ 国別会議(班を国と呼ぶ) ○ ドラム缶風呂 ○ お祭り(夜店 ポン・ファイヤー) ○ すまい撤収 ○ お別れパーティー

(5) 親子キャンプのつどい

① 目的

テントによるキャンプ生活や野外活動、キャンプファイヤーを囲んでの楽しい語らいを通して、親子のふれあい・他家族との交流・親睦を図る。